

職員提案 表彰提案内容一覧

No.	提案事項	現状又は改善前の状況	改善後の状況	概算経費	効果(経済的効果や時間的効果などを具体的に記入)
1	おおり前交差点の本庁舎への出入口の改善 【アイデア提案】	市民会館の閉鎖・取壊もあり、本庁舎の駐車場とおおりを往復する市民が増加しており、従来より本庁舎とおおりを行き来する職員の往来も多いが、交差点前の出入口が狭いことから、車イスでの通行は極めて困難であり、歩行者でもすれ違いができず、どちらかが待機しなければならない。このため、横断歩道を渡ることが出来ないケースもあり、時間的ロスとストレスの原因となっている。	・島田駅方向からの徒歩来庁者の大半が使用する当該出入口を改善することにより、車イスの通行が可能となる。また、おおり利用者・職員等の歩行者のすれ違いが可能となり、時間的ロスが減少する。	作業は現業に依頼した場合、材料費10～20万円程度	おおりを利用する市民サービスの向上と、職員の効率的な業務が可能となる。(信号の待ち時間は1:15)
2	公共土木施設の事業履歴作成 【実績提案】	道路・橋梁・河川などの公共土木施設は戦後の高度経済成長期に建設されたものが多く、そのほとんどがいわゆる「作りっぱなし」の状況であり、現在の状態がよく分かっていないものが多い。その理由は、人口増加も含めて急速に進展する社会の要請に答えるため、公共インフラの整備・建設を急ぐ必要があったことから保守管理が手薄になったという、やむをえない理由がある。先年の笹子トンネルの事故を契機として、全国的に保守点検の見直しの機運が高まってきている。島田市も例外ではなく、橋梁の点検及び長寿命化工事を計画的に実施し始めたところである。ところが、当時の日本社会を支えてきた団塊の世代の退職とともに、島田市でも当時を知る職員も今はいなくなった。保守点検業務に限らず、議会での質問や国・県からの問い合わせ、工事説明会などで施設の経過を聞かれることがある。しかも、議会からの質問は緊急的なものが多く、また国・県からの問い合わせも「その日のうちに回答をほしい」など急を要することがある。その度に倉庫で書類を探したり、当事の担当者を捜して訊いたりしている。ルーチンワークから外れた業務で「おっくう」な仕事である。厄介で時間が掛かるわりに確認できないことがあり、成果は少なく「不明」と答えざるを得ないこともたびたびある。	「決算に係る主要な施策の成果に関する報告書」通称「成果に関する報告書」のバックナンバーが島田市分は島田図書館おおり分館に、旧金谷町分は金谷図書館(金谷庁舎内東側倉庫)に保管されていることが分かった。過去の「成果に関する報告書」のうち道路・街路・橋梁・河川事業分をエクセルに転記した。 道路は 島田市 平成元年から平成26年まで 26年間 金谷町 平成元年から平成15年まで 15年間 街路は 島田市 平成元年から平成26年まで 26年間 金谷町 平成元年から平成15年まで 15年分 橋梁は 島田市 昭和40年から平成26年まで 50年間 金谷町 昭和56年から平成15年まで 23年間 河川は 島田市 昭和49年から平成26年まで 41年間 金谷町 昭和49年から平成16年まで 31年間 以上の年度の工事名、工事箇所、工事内容、事業費、業者名を一覧にした。 ※ なお、「成果に関する報告書」への記載方法が年度により異なるため、すべてを網羅できていない内容がある。 ※ 川根町分は未調査 誰でも調べられるように庁内LANの「建設課文書」に掲示した。	0円	左記現状説明で記載したとおり、とかく時間の掛かる作業をしているが、その割りに不明であったり、あやふやなことが多かった。この工事履歴エクセル表を調べれば、この道路は何年にどのぐらいの費用で事業をし、どの年度で完了したかなどが即判明する。例えば、橋梁事業を例にとれば、島田市の橋の内、耐震補強工事をした橋はどのぐらいあるか、総額はいくらかなど、利用価値は多く、調査に費やす費用や時間、職員の人件費削減に果たす効果は絶大なものがある。 ◆この提案をする理由としては 今後、建設部門に限らず他の部門も同じように「事業履歴のベータベース化」をしたほうが各種調査に役立つものと思われるからである。「成果に関する報告書」はそういった目で見れば「宝の山」である。ひと昔から見ればIT化が進んでデータベース化は誰でも簡単に出来るし、簡単に検索できる時代となった。この提案の基本的な考えを普及させたいと思う。また、図書館における文献保存機能をありがたいたいと思う次第である。以上提案をします。
3	財務会計システムにおける専決規程に従った決裁区分の自動設定 【アイデア提案】	現在は、財務会計システムで伝票を起票する際、自分で専決規程に当てはめて決裁区分を設定してから打ち出している。	自動で正しい決裁区分が表示されるようになる。	不明	専決規程を調べる手間と伝票の不備がなくなる。
4	市役所からの発送封筒に広告を募り掲載 【アイデア提案】	定形の封筒に発送元を印刷したものを使用。	封筒の空きスペースに、市内業者の広告を有料で掲載。	印刷製本費の単価が少し上がる可能性がある。	封筒用の印刷製本費の一部にはなる。発送課に関係した業者、例えば、水道課なら配管工の業者の広告を入れることで、水等のトラブルがあった場合、一般家庭で連絡先として助けにもなる場合がある。

職員提案 表彰提案内容一覧

No.	提案事項	現状又は改善前の状況	改善後の状況	概算経費	効果(経済的効果や時間的効果などを具体的に記入)
5	市役所来客用ヘルメットの設置 【アイデア提案】	地震等の災害時に職員に関してはヘルメットが配布されているが、来客者に対しては備えが無いため、有事の際に来庁している市民の安全確保に不安がある。	来客がある窓口等の近くで業務に支障が出ない場所、見た目にも煩雑にならないようにホルダーなどに収納してヘルメットを設置する。有事の際は即座に配布、もしくは来客者自身で手に取れる状態にしておく。	市内の企業等に広告料といったかたちで募金を募りヘルメットやホルダーを設置する。	・有事の際に来客者の安全確保ができる ・市の危機管理意識の高さをアピールできる ・協力企業の宣伝に繋がる
6	大井川鐵道を活用したサイクリング 【アイデア提案】	川根路をサイクリングするには、登るのは疲れる。	車に自転車を積んで、五和に車を止め、自転車を折りたたんだりせず大井川鐵道に乗せ、千頭まで行き、千頭から自転車で下る。下りなので楽。	不明	サイクリングで、健康増進効果。体験型観光。大井川鐵道の活性化。
7	職員へ向けた広告物の掲載による財源確保 【アイデア提案】	市の広告収入として今年度からHPにバナー広告を実施し収入を確保している。これ以外にも収入確保できるものがあることから小額でも可能であれば実施すべきと考える。	広告可能掲載物等 ごみカレンダー、ゴミ袋、職員給与明細、庁内パソコン等	0円	広告収入が見込める ごみカレンダー 200,000～500,000円 ゴミ袋 500,000～1,000,000円 職員給与明細 200,000～500,000円 庁内パソコン等 150,000～500,000円
8	職員等の避難所体験合宿の実施 【アイデア提案】	島田市では非常時に円滑な避難所生活が行われるように、平常時から各第一次指定避難所単位で避難所運営委員会を組織している。また、各自主防災組織の訓練等により、炊き出し訓練や簡易トイレなどの資機材の組み立て訓練を実施しているが、避難所生活を実際に体験している者が少なく、より実践に則した訓練を実施することが難しい状況にある。	地域の自主防災組織の代表者や職員を対象にモデル事業として、特定の避難所で避難生活を体験する合宿を実施する。当該年度に期限の切れる備蓄食糧を用いた炊き出しや、タッピングタッチ等の実際の避難所で実施された交流などを体験する。	500円/人 ※毛布再包装費等	自主防災組織の代表者が参加することにより、避難所体験合宿のノウハウが取得でき、各避難所における自主的な訓練としての実施が期待できる。避難所生活を体験することにより、課題や真に必要な支援・物資等を把握することができる。また、避難所生活の過酷さを体感することにより、家庭の耐震化、家庭内備蓄の益々の促進が期待される。また、地域住民間あるいは職員間の交流を図ることで、地域防災力をより強固にし、長期化する避難所生活を円滑に進める一助となる。

職員提案 表彰提案内容一覧

No.	提案事項	現状又は改善前の状況	改善後の状況	概算経費	効果(経済的効果や時間的効果などを具体的に記入)
9	<p>地元既存企業若手代表者等と庁内若手職員との交流・勉強会 【アイデア提案】</p>	<p>市職員側の状況 現在、主に議員等を通じた陳情や業界からの要望という形態で市内事業者のニーズが行政に伝達されているが、市職員においてその背景が明確でないし、理解が断片的にならざるを得ない。そもそも市職員と事業者との交流は一部に限られている。</p> <p>事業者の状況 現在、おびサポで事業者支援をしているが、利用者は自ら自身の営業につき問題点を認識し、或いは必要な支援を認識した上で相談等支援依頼をしている。しかし、利用者がおびサポに求めた支援は利用者自身の判断により必要としたものであってニーズが潜在したままになる可能性がある。また市に対して業界や市の景況等を実感として市職員に密に伝えることができる機会が乏しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政・市内事業者の強力連携体制の強化 ・市内事業の発展に寄与する機会の増大 ・真の需要に応える政策実施可能性の上昇 ・職員の知識・能力の向上 ・市事業者の市政に対する理解の向上 	<p>勉強会の会場の料金、頻度、規模によりますが10万円もあれば十分なのではないでしょうか。懇親会費は自腹切ってもらえないと思います。</p>	<p>顔を合わせる機会を密にし第1には次の効果を期待する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①事業者が自らもつニーズとそのニーズの背景を職員が把握し、共同して解決する取り組みができる。 ②事業者自身が見出せなかった解決方法の至潜在的ニーズを職員が発見し、事業者と共同して解決する取り組みができる。 ③市職員において市内事業の実態を肌で感じ、市政にフィードバックする機会を得る。 ④市事業者と市政の協働関係の形成に資する。 ⑤事業者から市政に対し民間のノウハウに基づく提案を受ける機会を獲得する。 ⑥勉強会を通じた、市及び事業者の知識・技能及び相互理解の深化 <p>第2に次の効果を期待する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①いわゆる第6次産業育成における下地作り ②市内事業者と大学や大手企業等との間にオープンパテント使用許諾契約等の媒介、市内事業者の産業発展に寄与
10	<p>市役所庁内の各課の看板に番号を表示 【アイデア提案】</p>	<p>電話等で課の名前で説明しても名前が覚えられず、来庁した際にどこの課に行きたいのかわからない来庁者がいる。例えば、「納税課」と「課税課」が混同し迷ってしまうことや、「課税課」の中でも市民税の窓口や固定資産の窓口などが分かれており、一般市民にはわかりづらい。</p>	<p>看板の表示を、「⑩市民税担当」等にする事で、電話で来庁の案内をする際や、総合案内においても、番号で案内することができ、覚えることも単純になる。それによって来庁した際に迷うことがなくなる。特に高齢者は、単語を覚えるより数字のほうが覚えやすく、また外国人の方には対応した職員が英語がわからない場合でも、数字であれば案内することができるため、スムーズに対応することが出来る。</p>	<p>各課表示の看板シート張替え費用 1文字800円 例)②を作成すると2文字扱いとなり1,600円 必要な範囲等は検討していく必要がある。</p>	<p>庁内表示がわかりやすくなり、接客対応時間の削減が見込める。また、来庁舎へわかりやすい表示になり、迷うこともなくなるため、市役所への抵抗感がなくなる。</p>